

日本評価学会第 21 回全国大会プログラム(案)
大会テーマ 新型コロナ感染症と評価
於 オンライン会場

日時 2020 年 11 月 28 日 (土)
 11 月 29 日 (日)

開催方法 Zoom ミーティングルームを活用した初のオンライン研究大会
 (ID, パスコードについては, ML を通じてご連絡します。)

第 1 日目 2020 年 11 月 28 日 (土)

	ルーム A	ルーム B	ルーム C
9:00~9:30	受 付		
基調講演 9:30-11:30	基調講演 前会長 牟田博光 現会長 山谷清志	/	/
11:30-12:50	理事会		
I 13:00-15:00	共通論題 1 評価の副作用 (津富宏)	ラウンドテーブル Evaluating SDGs (Keiko Nishino)	自由論題 1 教育評価 (佐藤由利子)
II 15:10-17:10	共通論題 2 ポストコロナ時代のエッ センシャルワーク評価 (山谷清志)	共通論題 3 国際協力機構 (JICA) の 事業評価 (正木朋也)	自由論題 2 実践活動の 評価技法 (田中啓)
III 17:20-19:20		共通論題 4 IT の利用と評価 (佐々木亮)	

第 2 日目 2020 年 11 月 29 日 (日)

9:00~9:30	受 付		
IV 9:30-11:30	共通論題 5 学校に求められる 評価的思考 (小澤伊久美)	共通論題 6 令和 2 年度コロナ禍対策補正 予算と独立財政機関: 主要課題 (廣野良吉・上野宏)	自由論題 3 持続可能性の評価 (今田克司)
V 12:30-13:50	総会		
VI 14:00-16:00	共通論題 7 国の施策・事業の評価 (佐藤良典)	共通論題 8 コロナ禍と ソーシャル Impact (湊直信)	自由論題 4 地域における評価 (田辺智子)
VII 16:10-18:10	共通論題 9 科学技術政策の評価 (橋本圭多)	共通論題 10 ソーシャルセクター における ECB (源由理子)	自由論題 5 インパクト評価 (齊藤貴浩)

※ 本大会プログラム案は 9 月末日現在の暫定版です。
 11 月上旬に配布するものを最終確定版とします。

詳細プログラム

(※ ○印は主発表者)

1日目 11月28日(土)		
基調講演 11月28日 9:30-11:30		
牟田博光 (国際開発センター (IDCJ), 日本評価学会前会長) 山谷清志 (同志社大学, 日本評価学会会長)		
理事会 11月28日 11:30-12:50		
I 11月28日 13:00-15:00		
共通論題1 評価の副作用		
		座長 津富宏 (静岡県立大学)
	新自由主義の道具としての評価とその副作用	津富宏 (静岡県立大学)
	評価の影響の多様性と誤用の議論	益田直子 (拓殖大学)
	子どもの貧困支援現場の評価と現場への影響	李炯植 ((特活) Learning for All)
	評価の活用と副作用	家子直幸 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)
ラウンドテーブル Evaluating SDGs-Latest Actions Towards the World We Want		
		座長 Keiko Nishino (Kwansei Gakuin University)
	Introducing EvalSDGs: how can we contribute	Keiko Nishino (Kwansei Gakuin University)
	Evaluating SDGs, issues and actions in Asia	Asela Kalugampitiya (APEA)
	Challenges of national evaluation, a case of Afghanistan	Samandar Mahmodi (APEA, Afghan Evaluation Society)
	Promoting young evaluators in the Asia Pacific Region	Ana ERIKA L. Lareza (APEA, Eval Youth)
自由論題1 教育評価		
		座長 佐藤由利子 (東京工業大学) 討論者 佐藤由利子 (東京工業大学) 牟田博光 (国際開発センター)
	高等教育における対面授業と遠隔授業の学習効果の評価: 授業実施方法と教員の指導力の観点から	○江寄那留徳, 關谷武司 (関西学院大学), 吉田夏帆 (関西学院大学大学院国際学研究科研究員)
	組織的な学びを促す評価: 大学日本語教育部門構成員への聞き取り調査から	小澤伊久美 (国際基督教大学), 丸山千歌 (立教大学)
	ランダム化比較試験を通じた子どもの読み書き・算数改善モデルの構築: インド NGO 「Pratham」 を事例として	丸山隆央 (広島大学大学院)
	ミャンマー軍政下の前期中等教育における CAPS の効果検証: 学習者の社会・経済水準に着目して	吉田夏帆 (関西学院大学大学院国際学研究科研究員)
II 11月28日 15:10-17:10		
共通論題2 ポストコロナ時代のエッセンシャルワーク評価——効率規準のインパクトの評価——		
		座長・討論者 山谷清志 (同志社大学)
	ごみ収集の過酷	藤井誠一郎 (大東文化大学)
	困窮化住民の相談窓口の惨状	渋谷典子 (NPO 法人参画プラネット)
	介護と保育の苦闘	山谷清秀 (青森中央学院大学)
	保健所と学校給食の窮状	湯浅孝康 (大阪国際大学)
共通論題3 国際協力機構 (JICA) の事業評価における最近の取り組み		
		座長 正木朋也 (国際協力機構 (JICA), 北里大学非常勤講師)
	コロナ禍における JICA 評価の現状	藤谷浩至 (JICA)
	新評価基準の策定と今後の展開	○吉田理沙, 植田茜, 芳沢忍, 今吉萌子 (JICA)
	DAC 新評価基準用語の解釈と運用	江口雅之 (JICA)
	質的比較分析 (QCA) 適用の試行: 無償・技協連携の検討	○正木朋也, 今吉萌子, 氏家慶介 (JICA)
自由論題2 実践活動の評価技法		
		座長 田中啓 (静岡文化芸術大学)
	「トータルパッケージ」を用いた就労支援技法に関する研修の評価デザインの検討	○武澤友広, 山科正寿, 田村みつよ, 村久木洋一, 渋谷友紀 (障害者職業総合センター)
	環境社会配慮分野における近年の傾向を探る: 委員会での討議資料を中心に	石田健一 (学校評価士)
	まち・ひと・しごと創生総合戦略と SDGs の関連づけと評価: 岩手県内 33 市町村を事例に	○熊谷智義, 鎌田徳幸, 岩瀬公二 ((特活) 政策 2 1)
III 11月28日 17:20-19:20		
共通論題4 IT の利用と評価		
		座長 佐々木亮 (国際開発センター (IDCJ)) 討論者 正木朋也 (国際協力機構 (JICA))
	新型コロナウイルス感染症によって拡大する教育格差—独自アンケートを用いた雇用・所得と臨時休校の影響分析	小林庸平 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)
	IT 事業をグロースさせる RCT	藤田光明 (サイバーエージェント)
	Google Earth Engine を用いた事業評価	石本樹里 (メトリクスワークコンサルタンツ)
	How much consumers evaluate environmental attributes	○二荒麟 (慶應義塾大学大学院生), 星野崇宏 (慶應義塾大学), 細田

	in the Japanese New Car Market?	衛士 (中部大学)
2日目 11月29日(日)		
IV 11月29日 9:30-11:30		
共通論題5 学校に求められる評価的思考——いつ活用し、いかに共有するか——		
		座長 小澤伊久美 (国際基督教大学) 討論者 小澤伊久美 (国際基督教大学) 橋本昭彦 (国立教育政策研究所)
	自治体教育計画は学校評価をいかに後押しするか	橋本昭彦 (国立教育政策研究所)
	学校経営計画表から学校の評価を考える	小澤伊久美 (国際基督教大学)
	地域と学校の協働の視点から学校の評価を考える	佐々木保孝 (天理大学)
	学校評価における教員の関与について:予備的な考察	石田健一 (学校評価士)
	学校評価の伝え方と見せ方:コミュニケーション・デザインの考察	高林友美 (サイバー大学)
共通論題6 令和2年度コロナ禍対策補正予算と独立財政機関:主要課題		
		座長・討論者 廣野良吉 (成蹊大学名誉教授, JES分科会「立法府の分析・評価機能の強化」座長)
	JES分科会報告:独立財政機関の国会設置提言	上野宏 (JES分科会「立法府の分析・評価機能の強化」副座長)
	同友会提言:将来世代のために独立財政機関の設置を一複眼的に将来を展望する社会の構築に向けて	山内佳悟 (経済同友会, 政策調査部, アシスタント・マネジャー)
	2020年度補正予算と国家財政持続可能性	洪水啓次 (日本公認会計士協会会員)
自由論題3 持続可能性の評価		
		座長 今田克司 (CSOネットワーク)
	民間資金動員・触媒の評価と課題:世界銀行グループでのブレンドファイナンス案件評価の実践から	畑島宏之 (世界銀行グループ)
	日本の公的セクター財政は持続可能なのか?	吉田素教 (大阪府立大学)
	持続性の評価 —タンザニアにおける教育支援の事例より—	高橋真美 (日本評価学会会員)
	ODA評価の管理とその課題:ガイドラインの変遷	三上真嗣 (同志社大学大学院博士後期課程)
V 11月29日 12:30-13:50 総会		
VI 11月29日 14:00-16:00		
共通論題7 国の施策・事業の評価——行政評価局調査の最近の事例——		
		座長・討論者 佐藤良典 (総務省)
	最近の全国計画調査の事例:災害時の「住まい確保」等に関する行政評価・監視	今井恵美子 (総務省)
	新型コロナウイルス感染症対応に関する行政評価局の取組	岡宏記 (総務省)
	最近の地域計画調査の事例:マンションの適正な管理の推進等に関する調査	○渡邊誠士 (総務省), 佐々木光宏 (総務省), 脇領計都 (総務省)
共通論題8 コロナ禍とソーシャル Impact		
		座長 湊直信 (国際通貨研究所) 司会 廣野良吉 (成蹊大学名誉教授) 討論者 佐藤由利子 (東京工業大学)
	コロナ後の世界におけるグローバリゼーションの行方	浅沼信爾 (一橋大学)
	COVID-19への対応と, 日本の市民活動・市民事業の実相に適した支援プログラムと評価の在り方	川北秀人 (人と組織と地球のための国際研究所)
	コロナ禍におけるリモートワークと地方活性化	湊直信 (国際通貨研究所)
自由論題4 地域における評価		
		座長・討論者 田辺智子 (国立国会図書館)
	都道府県医療計画の中間評価に向けた自治体支援のためのコンテンツ開発	○松本佳子 (東京大学), 吉田真季 (埼玉県立大学), 前村聡 (日本経済新聞社), 渡部鉄兵 (株式会社ウェルネス), 埴岡健一 (国際医療福祉大学大学院)
	行政におけるアカウントビリティと評価の比較研究:韓国と日本の比較	韓廷暎 (同志社大学大学院博士後期課程)
	演劇ワークショップによる地域と外国人の共生活動を参加型・質的評価手法 MSC (Most Significant Change) で評価する	田中博 ((一社) 参加型評価センター)
	自治体ニーズ評価における選択バイアス	後藤玲子 (茨城大学)
VII 11月29日 16:10-18:10		
共通論題9 科学技術政策の評価		
		座長 橋本圭多 (神戸学院大学) 討論者 南島和久 (新潟大学)
	それは科学技術分野から始まった:フランスにおけるモニタリングとアドバイス	村上裕一 (北海道大学)
	研究開発評価の未来像	○宮崎英治 (宇宙航空研究開発機構 (JAXA)), 柳瀬恵一 (JAXA)

地域における科学技術政策の評価の困難性：高速増殖炉「もんじゅ」と福井県「エネルギー研究開発拠点化計画」	定松淳（東京大学）
科学技術政策と評価	白川展之（新潟大学）
共通論題 10 日本のソーシャルセクターにおける ECB (Evaluation Capacity Building) の現状と展望 – 資金提供者と事業実施者をつなぐ評価のあり方 – 座長 源由理子（明治大学） 討論者 今田克司（CSO ネットワーク）	
なぜ今、日本のソーシャルセクターで ECB が注目されるのか	源由理子（明治大学）
日本における ECB の現場から①：休眠預金等活用 の事例（資金分配団体による評価支援）	○新藤健太（群馬医療福祉大学）、大池恵梨香（全国食支援活動協力会）
日本における ECB の現場から②：インパクト投資 における伴走支援評価の事例	白石智哉（ソーシャル・インベストメント・パートナーズ）
自由論題 5 インパクト評価 座長 齊藤貴浩（大阪大学） 森俊郎（岐阜県養老町立養北小学校）	
Impact Survey of the Project for Curriculum Reform at Primary Level Basic Education (CREATE) in Myanmar	○Ryo SASAKI, Masami Watanabe (IDCJ), Aye Yie Mon, Htay Htay Han (JICA-CREATE Team in Myanmar)
社会的インパクト投資における評価手法	伊波浩美（東京大学未来ビジョン研究センター）
『日本NGO連携無償資金協力の評価』の結果報告	○廣野良吉（成蹊大学名誉教授）、下澤嶽（静岡文化芸術大学）、佐々木亮、○佐久間美穂、山田祐美子（国際開発センター (IDCJ)）

(1) スケジュール

- ①応募要項の案内、受付開始・・・・・・・・・・ 8月上旬
- ②エントリーの締め切り・・・・・・・・・・ 8月31日（月）
- ③プログラムの公表（HP,ML）・・・・・・・・・・ 9月下旬
- ④プロシーディングスの提出・・・・・・・・・・ 10月30日（金）
- ⑤プロシーディングス（Web版）の公表・・ 11月 6日（金）
- ⑥会員・討論者によるコメント受付・・・・ 11月20日（金）
- ⑦オンライン方式による全国大会開催・・・・ 11月28日（土）、29日（日）
- ⑧コメント・リプライの更新・・・・・・・・・・ 12月 4日（金）
- ⑨大会ホームページへの掲載・・・・・・・・・・ 12月11日（金）
- ⑩大会ホームページの閉鎖・・・・・・・・・・ 1月11日（月）

(2) 学会報告として成立するための5つの要件

- ①発表者のプロシーディングスがあること
- ②コメンテーターからのコメントがあること
- ③コメント等に対するリプライがあること
- ④上記内容をホームページで公表すること
- ⑤学会当日、オンラインで発表を行うこと

(3) 委員会等

プログラム委員会

委員長 牟田博光

委員 今田克司、上野宏、岡本義朗、大島巖、小野達也、窪田好男、小島卓弥、齊藤貴浩、佐々木亮、佐藤由利子、田中啓、田辺智子、津富宏、西野桂子、橋本昭彦、林薫、正木朋也、湊直信、源由理子、山谷清志

大会実行委員会

委員長 南島和久

委員 鏡圭佑、北川雄也、橋本圭多、藤井誠一郎、三上真嗣、山谷清秀、湯浅孝康

(4) 問い合わせ先

日本評価学会事務局 jes.info@evaluationjp.org